

国政政党大阪府支部

代表者 様

公益社団法人大阪介護福祉会  
会 長 浅 野



## 新型コロナウイルス感染症対策に係る 介護福祉施設の現状報告及び要望について

平素より、介護福祉士及び介護福祉施設の各種環境整備および本会事業の推進にご理解ご協力賜り厚く御礼申しあげます。

さて、新型コロナウイルス感染症対策に係る介護福祉施設の現状について、本会に所属する介護福祉士会会員や介護福祉施設、関連団体等から多くの声が寄せられておりますので現状の報告をいたします。

介護福祉施設は、特に入所施設は 24 時間 365 日稼働しております。新型コロナウイルス感染症が流行している現時点においても、多くの施設が平時と変わらず稼働しております。既にご承知のこととは存じますが、医療現場ではもちろん介護福祉施設におきましてもマスクや消毒液等の在庫がかなり少なくなり、物品調達に大変な思いをされています。

また、現場で働く介護福祉士をはじめ多くの介護職は、自らの感染リスクを抱えながら命を張って要介護者の介護にあたっています。平時であれば、要介護者の家族や地域のボランティアに要介護者の話し相手等様々な協力を得ながら、要介護者の快適な生活の提供、質の高い介護の提供を行っております。しかしながら、現在ほとんどの施設では感染症対策のため、施設職員以外の出入りを制限されております。この立入制限には、要介護者の家族や地域のボランティアも含まれます。そのため非常時では現場の介護職の職務に対する負担が増大しています。

さらに、子どもがいる職員は、学校が休校しているため仕事を休まざるを得ず、その結果現場の人員が減少し職員の確保もままならず、日常的に人手不足である介護福祉施設にとっては、さらなる困難が生じています。

要介護者自身も外出ができないことや家族と会えないことでの不安など、平時とは異なる雰囲気ストレスや閉塞感を感じている方もおられます。

また、認知症の進行等本人の健康状態にも芳しくない状態が出ている事例も出始めているようです。

以上の報告から現状を解決するために2点要望いたします。

(要望①)

早期に平時の環境を取り戻すため、医療、介護や生活に必要な職種以外の全職種を完全休業させ、また休業により減少した所得を補償し、人の往来をすべて止め新型コロナウイルス感染症の早期終息を図るようご対応ください。

(要望②)

医療現場同様に介護福祉施設においても優先的に物品確保ができるようご対応ください。

人の往来を止めれば市中のマスクや消毒液等の需要が減少し、医療や介護に必要な職種に必要な量を確保することにつながります。

医療、介護現場は待ったなしの逼迫した状況であるにも関わらず、今回のような非常事態宣言が発出されて以降も専門職の方たちの善意におんぶに抱っこ状態で良いのでしょうか(失礼な言い方になり申し訳ございません)。議員の皆様も多方面から支援要請等をお聞きになり大変な時期かと思いますが、介護従事者や医療従事者の命を守る懸命な判断をお願い致します。